

未来を担う新しい生命への扶助

未来を担っていく新しい生命の誕生と成長に寄与する事業として
「精子バンク」をオープンいたします

目的

愛する者同士がカップルとなり自然な形で子どもを授かることが、社会においては長い間、理想と考えられています。しかし、さまざまな要因でその希望がかなえられない場合があります。子どものいる家庭を築く手段にはいくつかの選択肢があり、そのひとつに第三者からの提供精子を用いた人工授精（AID）という方法があります。みらい生命研究所は、AIDを実施する医療機関に対して安全で良好な精子を提供するために「精子バンク（Sperm Bank）」事業を行います。

※非配偶者間人工授精：最近「Donor Insemination」を略して「DI」と呼ぶことも多い。

設立の背景

公益社団法人日本産科婦人科学会に登録されている AID 実施施設は、全国に 12 施設あります（2021年5月現在）。AIDを行う場合は、施設登録することが同学会の会告に明記されています。現在、日本においては精子提供者不足から AID の実施数が減少していて、治療を希望しても、すぐに提供を受けられないケースが多いのが現状です。

こうした状況から、医療機関を介さずにインターネットを利用して直接ドナー（提供者）を探して個人で取引を行い、登録施設以外で使用するケースが増えています。

しかし、個人の取引には問題が多いと言わざるをえません。

まず、精液を採取する際に衛生面や安全性が担保されていないこと。男性がなんらかの感染症にかかっているにもかかわらず。また、精液をそのまま体内に注入すれば、女性が感染症に侵される可能性もあります。そもそもドナーの本人確認や、ドナーから手渡された精子が本人のものだと確認することすらできないのです。

このようなリスクを負ってでも「早く妊娠したい、子どもを持ちたい」という切実な思いが提供を希望する側にはあるといえます。

みらい生命研究所では、こうした状況を改善し、未来を担う命を育むことに寄与するために精子バンク事業を行います。

提供者と精子について

精子提供者（ドナー）は、20歳から40歳の治療に理解のある医療関係者。感染症などの検査を行った上で精液を採取し、独自基準に達した精子を凍結保存します。

提供のシステム

当研究所と契約を結んだ医療機関を対象に精子提供を行います。
提供精子を凍結保存し、必要に応じて凍結精子を契約医療機関に届けます。

今後の予定とコメント

6月以降、提供者を随時募集し、精子の保管を開始します。当面は年間500件程度の利用を目指します。

精子バンクの設立により、子どもを望む方への安全な治療の一助となることを願っております。

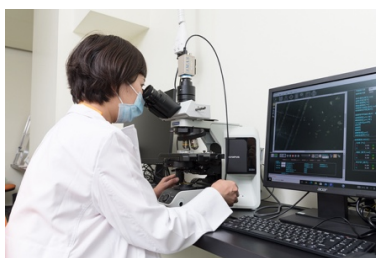
株式会社みらい生命研究所
代表取締役 岡田 弘



◆キーワード：男性不妊

日本で不妊検査や治療経験のあるカップルは、5.5組に1組（※）とされる。また、WHO（世界保健機関）の調査によると、不妊カップルのうち男性側に原因があるケースは48%と約半分を占める。男性不妊でも治療で妊娠が見込める場合は多いが、精巣で精子が作られていない無精子症の場合は妊娠が難しい。

※国立社会保障・人口問題研究所「第15回出生動向基本調査」より。



株式会社 みらい生命研究所

〒343-0808 埼玉県越谷市赤山本町2-11 プラントール雅Ⅱ 201号

TEL：048-973-7771 FAX：048-973-7729

E-mail：info@spermbank.jp Website：<https://spermbank.jp>

